



埼医FAXニュース

編集・発行 埼玉県医師会広報担当 松山 眞記子

https://www.saitama.med.or.jp/kaiin/kaiin_7.html

県医師会理事会速報<12月5日>

金井会長挨拶

先生方も報道等でご覧になっていると思いますが、順天堂大学の新病院建設の計画が中止となりました。これについて簡単に説明させていただきます。11月29日(金)に順天堂大学の幹部と大野元裕埼玉県知事の会談が午前9時半から非公開で行われました。その場で、大学側から計画の中止を県側に報告をしたということです。

中止を判断した理由について、順天堂大学のホームページに掲載された報告によれば、「総事業費は当初予想の2.6倍にあたる2186億円に高騰した」こと、「新型コロナによる病院運営の悪化」「医師の働き方改革への対応」などが挙げられていました。順天堂大学としては、かつてないほどの厳しい財政状況に直面しているとのことです。

計画の事業費について、2015年1月、病院整備の計画当初は約400億円と噂されていました。しかしながら今回、大学がホームページに掲載した報告によれば、事業費は2015年1月の段階で既に約834億円とありました。その後2018年3月には980億円、2022年4月には1014億円、2023年11月には1338億円、そして2024年7月に2186億円と推移しています。

計画を巡る経緯について簡単にお話しします。まず2015年の3月に順天堂大学医学部付属病院の新設が決定しました。これは埼玉県医療審議会の中でも認めたことです。我々埼玉県医師会の中では、水谷副会長、廣澤副会長、松山常任理事、そして私の4人が出席している審議会です。当時は病院の建設自体が目的ではなく、県内の医師確保困難地域に対する医師派遣が中心ということで始まった話でした。しかし、この病院の計画について十分に注意して見なければならないということは、最初から我々も考えていました。まず、病床数は800床であると、その800床を稼働させるために、医師300人、看護師800人が必要であると計画されました。これについて、医師300人と看護師800人を近隣から引き抜くようなことがあっては困るという話を、我々としても計画当初からしており、質問としても出していました。それに対して「全国から公募するので埼玉県には迷惑をかけない」というような回答が大学側からありましたが、全国公募でも近隣地域から応募する人がいることは当然に予想され、影響は少なからずあることは懸念していました。

その後、順天堂大学は2018年3月に、着工や開設時期を未定とする計画変更を県に申請しています。また、同時期に整備費の1/2以内を県が補助をするという確約書も大学と県の間で交わしています。

2021年12月には、2026年4月に着工、2030年3月までに全800床で開設するという内容で、さらなる計画変更を申請してきました。その800床のオープンの仕方については、

2029年4月に400床、2030年に400床、合計で800床ということでした。この計画に対して、医療審議会としては当然ながら反論をしました。まず整備方針が当初より大幅に遅れていることについて、質問しています。同時に、計画の進捗状況や整備費がどの程度かかっているのかということを、県民に対して説明すべきではないかということを申し入れました。

その結果、またしても計画が変更され、2027年までに全800床で開設することになりました。また、当初の目的であった医師確保について、2022年度中に医師派遣を開始するとしましたが、実際には2023年2月に研修医1名の派遣が開始されました。これに対して、県からは増員するべきとの要望をしています。

その後、今年2024年7月末に、大野知事に対して順天堂大学の小川理事長からメールが送されました。「整備費が2186億円、開設時期は予定されていた2027年から20か月遅れ」という内容の報告でした。これに対して、大野知事は、変更申請書の提出を求めていました。しかし申請書が中々提出されないことを受けて、県は提出期限を12月2日までと設定しました。そうしたところ、今回11月29日に計画中止が報告されたという経緯になります。

そもそもその話になりますが、当該地域に800床規模の高度急性期病院が本当に必要であったかという問題があります。新聞各社からそのような質問をいくつか受けましたが、そのような規模の病院が無くとも、取り立てて困ることはないであろうとお話しをさせていただきました。埼玉県医師会の常任理事会の中では、地域医療推進連携会議というものを立ち上げており、その中で順天堂大学の新病院計画が中止となった場合も想定しながら今まで協議してきました。そうしたこともあり、今回の計画中止を受けても、それほど困ることはないという認識を持っていたところです。

もう一点、病院建設予定であった土地の活用について、今後どうするのかという問題もあります。県民の方々からも意見が出てくるかと思います。当然、今後検討していくということになるかと思います。

順天堂大学新病院の計画中止を巡る経緯については以上となります。今後医療資源の格差というものを可能な限り少なくしていくために、一生懸命頑張っていきたいと考えています。これについては、県や県議会の方でも理解を示してくれています。先生方にも随時報告をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

損害保険・生命保険のお問い合わせ・ご相談は
(有)埼玉メディカル
 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-5-1
 TEL 048-823-9230 / FAX 048-823-9260

